

經典餘師

易經

四

口 11
1029
19



周易餘師卷之四

上象傳

周易餘師卷之四

上象傳

彖とて断の字義ありて一卦の義理を決定するなり文王象の辭と作り

るふ子又その象の義と説傳なり

大哉乾元萬物資始乃統天

乾元萬物資始乃統天

大哉乾元萬物資始乃統天

○雲行雨施品物流形

大明終始六位時成

陰陽の二氣流行て雲と雨とありて品之物

雲行雨施品物流形

時六龍以御天乾

○時乘六龍以御天乾

周易餘師

周易餘師

道變化各正性命保合太和乃利貞
乾の象と竜の六爻とを説く又乾と馬
とを乗といひ御とを司掌と云ふなり

首出庶物萬國咸寧
庶物小首出
萬國咸寧

至哉坤元萬物資生乃順承天
坤元萬
物資生
乃順承天

道變化各正性命保合太和乃利貞

乾の象と竜の六爻とを説く又乾と馬
とを乗といひ御とを司掌と云ふなり
六竜に乗て乾道を説く乾の卦は天道と云ふなり
又變化易の乾の初爻は地と云ふなり
乾の二爻は天と云ふなり
乾の三爻は龍と云ふなり
乾の四爻は馬と云ふなり
乾の五爻は龍と云ふなり
乾の六爻は竜と云ふなり

首出庶物萬國咸寧

至哉坤元萬物資生乃順承天

厚載物德合无疆

承坤厚物
載德无疆
合

厚載物德合无疆
坤の地は厚く
物を載る
德は合する
无疆は無限

利貞君子攸行

利貞君子攸行

先迷後得主

先迷後得主

南得朋

南得朋

終慶有安

終慶有安

終慶有安

終慶有安

貞之吉地の无疆

小應

屯剛柔始交

而難生

陰中動乎

大亨利貞

○屯剛柔始交而難

生動乎陰中大亨利貞

坤の卦始て一陽剛を

剛柔二の交りて又坎の陰の二陽を

雷之動満盈天造草昧宜建候而不

寧

天の造化小周て草葉をばりて昧して蒙

○蒙中有陰陰而止蒙々亨以亨

行時中也

五君柔德を以て亨の二九二の賢臣

○匪我求童蒙々々求我志應也初

筮告以剛中也再三瀆々則不告瀆

蒙也蒙以養正聖切也

君身を降して九二

の賢小まづ剛柔二の交りて

初筮告して剛德有りてその位中ふるいよく用ひ

かゆあり蒙を洗ふがゆえ告不とて愚蒙るる万民

用ひるがゆえ無益なるがゆえ愚蒙るる万民

○需

須也陰在前也剛健而不陷其義不

有也剛健而陷

了不其義困窮

蒙山下陰有陰

行時中亨亨以

我童蒙小求小匪

志童蒙我求求

初筮告剛中

也再三瀆

瀆則不告

不蒙以養正

聖切也

有也剛健而陷

了不其義困窮

世不兵需孚有
光亨貞吉天位
乎位中正以
也大川渡利
也往有功有
也

言へ上刪下險險ふ
 して健うへ訟々ハ
 孚有望る場中
 吉刪來て而
 して中て得也終
 大入て見ふ利と
 乃中正い尚一也
 大川と涉ふ利セ

不淵于人也

師衆也貞正也
能衆也
以正
以王
可與
刑
中
而應
險
行而順之此を
以て天下を毒
而く民之ふ後
吉又何の咎
有る哉
此吉也此は輔也下
順從也也原
永貞
元
中
以
也
寧ろ
不
方
小
来

困窮矣。需有孚。亨。貞吉。位乎天位。以

帝也利涉大川往有レ望也
時節の宜し

夫待て往じがゆへ困窮せざるなり天位とて乾天
 の上卦より九五の君位に在りて中の正一きと
 利溥なりとて往とむ時とて己の切なり字ふ事
 と事て光りやくとてべ他はまへの本卦よりけ

○訟上剛下險令而健訟々有孚

窒惕中吉剛來而得中也終凶訟不

可成也。利見大人。尚中正也。不利涉。

大川入于淵也。

来^きりて^て事^{こと}の二^{ふた}と^とう^うなる^{なる}王^{わう}位^ゐと^とう^うなる^{なる}ふ^ふと^とう^うの
 へ^へども^{ども}中^{ちゆう}道^{だう}と^と得^える^る終^{つひ}ふ^ふと^とう^うなる^{なる}君^{きん}子^しは^はわ^わる^るそ^そい^いと

遂成なりとせざるなり。謙譲するがゆえなり。大人と云ふ九五
中正の君と云ふなり。有徳の君子。小逢見るが利なり。
歸かへりと云ふ。次の水下。小在あらず。大やい危あやうきと云ふ。他たハ
本卦ほん小出こなり。くく小畧りやくと云ふ。後のちも解とくせざるなり。
例れいなるこの○師衆也。貞正也。能以衆正た。

可以王矣剛中而應行險而順以此

毒天下而民從之吉又何咎矣

て正しくとももの王者とるべし九二刑中の賢は
師帥たる徳有り且五尊ふ應どへくさの險難と

毒畜之吉ふて咎あり
 比吉也。比輔

也[○]下順從也^{スル}原筮元永貞无咎[○]以剛

中也。不寧方來。未應也。後夫凶其

大有二柔尊位
得大中以而止
下之小應
大有二曰其德剛
健而文明
天乎應卜而時
行乎是
元亨
謙亨天道下
濟而光明之地
道六辨而上
天道
謙益地通

有^レ此^の六二^の溫^の柔^のの^レ德^をつ^とり^て行^ふと^も本^と
 火^の天^の大^の有^のの^レ乾^のの^レ卦^の内^{より}行^く外^の卦^とと^るなり
 但^しこ^の卦^へ君^子の^レ德^の有^る人^のと^も能^く天^下
 の^レ人^々の^レ志^意と^も通^達せ^しめ^ば不^定なり^となり
 得^てと^も故^{なく}なり^とず^る ○大^有柔^得尊^位
 大^中而^上下^應之^曰大^有其^德剛^健
 而^文明^應乎^天而^時行^是以^元亨^天
 小^の日^光つ^とり^て行^ふと^も天^のと^も相^應と^も
 万^の亨^元と^も行^ふと^も他^の本^の卦^とと^も

盈もつとる度た下くだ而して謙けんお
 流なが鬼おに神かみにあるを
 害がい而して謙けんおろ福ふくを
 人ひと道みちにあるをえ惡わる而して
 謙けんとあ好このむ謙けん尊そん
 小こ而して光ひかりり卑ひげし而して
 踰こ可べくべ不ず君子くんし
 之の終はつ也なり

[illegible]

謙謙尊而光卑而不可踰。君子之終

師行乎天地
順又動故
日月過不
而四時成
聖人順以
則刑罰清
豫之時義
大矣哉

隨剛來而
隨柔動而
隨剛來而
隨柔動而
隨剛來而
隨柔動而

動故日月不過而四時不忒聖人以
順動則刑罰清而民服豫之時義大
矣哉
○隨剛來而下柔動而說隨大亨貞
无咎而天下隨時隨時之義大矣哉

下之時義
大矣哉

也甲先
三日終
則有始
天行也

臨而順
剛中

經典余而

○隨剛來而下柔動而說隨大亨貞
无咎而天下隨時隨時之義大矣哉
而天下治也利涉大川往有事也先
甲三日後甲三日終則有始天行也
臨而順剛中

而長說而順剛中而應大亨以正天之道也至于八月有凶消不久也

大觀上小在順而中不正也天下觀觀而化也天之神

而長說而順剛中而應大亨以正天之道也至于八月有凶消不久也

道觀而四時成不聖人神道以教設而天下服矣

頤中物有噬嗑而亨剛柔分動而明章而雷電合中得而上行雖位不當利

感聖人以神道設教而天下服矣

有物曰噬嗑々々而亨剛柔分動而明雷電合而章柔得中而上行雖不當位利用獄也

くといふる理筋の否とどうなり。夏と重くして離明
ふ今も付るなり。雷と権威と以て鳴るなり。
電光と何ともなるふは、雷と電と相合する
章明ふるなり。右六二の柔爻上行し、離明の中と
なり。六五の君位と得たり。獄辞決断の智と用ゆる
當れども文明ありて獄辞決断の智と用ゆる
利あり。○賁亨。柔來而文剛故亨。分
剝上而文柔故小利有攸往。天文也。
文明以止。人文也。觀乎天文以察時
變。觀乎人文以化成天下。
六二となりて離の象となる上下剝して文明の光
うめりかざりたるが故。小亨で夏とどなるなり。
又九二の剝爻と今十にて艮となり。四爻五爻の柔は
文なり。それゆゑ柔爻ハ小なりども往小利あり。

復ふたへ亨かう剛かう反はんり
動うご而して以もつ順じゆん行かうと

艮の高小離の光るが故に天文と日月星との
 光りて天の文となり又文徳の離明なり身止るハ
 人の文徳なり天文で観察するものハ時の変化を知
 まる人問礼示の文より知政務ありと云ふは
 天下化して服成となり
 ○剝々也柔変剛也不利
 有攸往小人長也順而止之觀象也
 君子尚消息盈虛天行也
 剝々也柔變剛也不利
 有攸往小人長也順而止之觀象也
 君子尚消息盈虛天行也
 剝々也柔變剛也不利

是以下出入疾无
明來也若无反
復其道七日來
復其來復也天
之行也往攸有
利也復其天地之
心也見乎

入无疾明來无咎反復其道七日來
復天行也利有攸往剛長也復其見
天地之心乎
順道之用也又初爻へかへる
利也又初爻へかへる
他前の本卦述より天地の心と
〇无妄剛自外來
而為主於内動而健剛中而應大亨
以正天之命也其匪正有青不利有
攸往无妄之往何之矣天命不祐行

无妄之往何人
之矣天命不祐
行矣哉

无妄の卦大畜の卦の剛反より
大畜外卦の上九の陽爻が内卦へ入て主と
なり震動乾健の直道と
中正より六二と相應して物と亨より正直と天
の命より往くも妄ふことと元一正より往くも
青といふ有て往くも利なり无妄より何れも妄ふ往くも
〇大畜剛健

大畜剛健篤實
輝光日新其
德新其剛上
而賢也尚能
健止大正也家
食不吉賢也
養也利也天
應也

篤實輝光日新其德剛上而尚賢能
止健大正也不家食吉養賢也利涉
大川應乎天也
象より大畜下卦の三陽剛健の健
く徳日新より剛上より无妄の卦上下より无
妄の初爻外より上九より君位の上より居るより君
と師と事より民の上より賢者徳より

願貞吉則正
 也願觀其養
 所也觀也自
 口實と求むる
 自養と觀也天
 地万物と養ふ
 聖人賢と養ふ
 して万民と及ぶ
 願之時大其哉
 大過天の者の
 過也棟橈本
 未弱也刪過而

王公貴人高尚の象なり君の賢徳を以つとふと人
 下の乾の三賢人と見止て畜養する大正とてその健々
 たる大正の徳なり五と二と相應する天のとき
 〇願貞吉養正則吉也觀願觀其所
 養也自求實觀其自養也天地養
 萬物聖人養賢以及萬民願之時大
 其哉 凡そ願養の道は貞正なり形とや
 聖人の賢徳とて万民と中するいぬる
 〇大過大
 者過也棟橈本未弱也刪過而中其

中其也而説
 行性收有不利
 過之時大其哉

習坎重險也水
 流而盈不險行
 而其信失不
 維心亨乃行
 剛中も以て也
 尚往有功也天
 險外不可不也
 地の險山川丘陵

聖申除市

周易卷之四

三

而説行利有攸往乃亨大過之時大
 其哉 大なる者とも陽爻といふ本未とも陰爻といふ
 卦の象へ四陽爻内ふ実て初と上との本未とも
 陰柔なりと棟を大りて本未弱さとも橈む
 〇習坎重險也水流而不盈行
 險而不失其信維心亨乃以剛中也
 行有尚往有功也天險不可外也地
 險山川丘陵也王公設險以守其國
 險之時用大其哉 坎は險なり險阻の土地なり
 まゝ水なり上下坎なり

天地感而萬物化生
 聖人之心感而天下和平
 觀其感而天地萬物之情見矣
 可矣

恒久也剛上而柔下
 雷風相與
 而動剛柔皆應
 應之恒亨

心而天下和平觀其所感而天地萬物之情可見矣
感ハ否の卦の三と上と入るる
 柔ハ上ふのは
 剛ハ下ふるは少男少女相感するが如く二氣感應
 女子より下ふるは貞の象なり男の象なり
 女子より下ふるは貞の象なり男の象なり
 女子より下ふるは貞の象なり男の象なり

恒久也剛上而柔下雷風相與
 而動剛柔皆應恒亨无咎利貞久
感ハ否の卦の三と上と入るる
 柔ハ上ふのは
 剛ハ下ふるは少男少女相感するが如く二氣感應
 女子より下ふるは貞の象なり男の象なり
 女子より下ふるは貞の象なり男の象なり
 女子より下ふるは貞の象なり男の象なり

其無利不利
 天地之道恒久而不已也
 利有攸往終則有始也
 日月得天而能久照
 四時變化而能久成
 聖人久於其道而天下化成
 觀其所恒而天地萬物之情可見矣

於其道也天地之道恒久而不已也
 利有攸往終則有始也日月得天而
 能久照四時變化而能久成聖人久
 於其道而天下化成觀其所恒而天
 地萬物之情可見矣
恒ハ泰の卦の初九
 六四下震
 震ハ雷
 風ハ巽
 震動ハ巽順
 震動ハ巽順
 震動ハ巽順

天地萬物之情可見矣
恒ハ泰の卦の初九
 六四下震
 震ハ雷
 風ハ巽
 震動ハ巽順
 震動ハ巽順
 震動ハ巽順

遯亨遯而亨也
剛當位而應
時義大矣哉
時與行也
利而長也
義大矣哉

大壯大者壯也
剛以動故壯
大者正也
正而天地之情見可矣

晉進也明地上
出順也而大明乎
麗柔進而上行
是以下康侯用
蕃庶其日
三三接也

明也中入明夷
內文明也而外柔
順以蒙大難
文王之利也
利也內難而
明也

○遯亨遯而亨也剛當位而應與時

行也小利貞浸而長也遯之時義大

與哉智者時之變也身之遯也世之遯也志之遯也

○大壯大者壯也剛以動故壯大

壯利貞大者正也正大而天地之情

可見矣大者之勢也陽之勢也剛之勢也

○晉進也明出地

上順而麗乎大明柔進而上行是以

康侯用錫馬蕃庶其日三接也晉之

○明入地中明夷內文明而外柔

順以蒙大難文王以之利艱貞悔其

明也內難而能正其志箕子以之

明夷

明夷

明夷

明夷

明夷

明夷

明夷

明夷

明夷

塞ハ難也險前ハ
 在也險見而能
 止乃知兵哉塞ハ
 西南ハ利ト性テ
 中得也東北ハ
 利不其道
 竊ミル也大人ハ
 見利ハ往
 功有也位ハ當

柔爻進すすむ行ゆく六五の中位ちゅうゐ卦全くわいぜん九二乃剛
陽小應おのこたへ龍りゆう說せつ離明りめい之德しよく麗れい也
天てん地ち陰いん陽やう
るものもあともも萬物と盲る夏ふやゆるは所
なり男の性情と女の性情とを形まて互ひに照らさる
りのちもととも相合してその志が相通トそ乃
外萬のものまでもそれより大なる類として相似たりとぞこの道理におおしく大抵これ類して相似たりとぞこの
用ひ品といふ付ても睽卦の時
○蹇難也險
在前也見險而能止知矣哉蹇利西南往得中也不利東北其道窮也利見大人往有功也當位貞吉以正邦也蹇之時用大矣哉

正々也豊之時

解險又動重而
險手免之解之
西南不利乃往
衆之得也其
來復吉乃中
之得也往彼有風
吉往之功

前ふらるゝとスく良止るなり利西南とも解の卦の倒反ふ
 なり一卦ハるるふふ中ハふふ寒ハの五の解の二なり下ハり
 往て坤ハ中ハしるるる上卦の坎ハ坤の中爻と陽畫
 とちハるるるる西南ハ坤ハり又不利東北とく
 東北ハ良ハ九三ハ良の主爻なり寒の卦とて時ハ
 九三ハ中と過て坎難の地と前ハて行窮たるとい
 うハ見大人ハ解卦の二往て九五ハハ當位と
 九五中正の位ハ當の君ハて二三上爻のくおハ逃
 も正ハるるひるをハ初と民とハ陽位陰爻と
 てハ智都の作用ハて急ハるるハハて
 て下ハ民と次ハセハなり
 寒の時用大ハなりとぞ
 ○解險以動動而
 免乎險解利西南往得衆也其來
 復吉乃得中也ハ有攸往夙吉往有功
 也天地解而雷雨作雷雨作而百果

損こ下した損こ上かみ
益えき其道そのみち上行かみ
損こ面おもて有あ利り
元吉げんきち咎とが无な貞てい
可べ往い攸き有あ小せう利り

震動するなりまうふ坎内なり震を飛う坎維
 免きて外ふ出なり困る困るの解して以て卦
 名といふ震雷坎雨ハ陰陽の成和してくるなり
 又解散るとなるなり又坤を衆民なり震
 の三より往て坤の衆ふ長なるなり西南に坤なり
 来復とて二ハ震の五より来るなりまう坤の中と
 うるなり所往とて早く往ん坎なりなり
 といふ害なり天地の気交成して雷雨と成
 雷雨作て百果草木甲振る王者天道ふ清なり
 民と養育昆虫草木まてくもやいなり解る時
 用大なり
 〇損々下益上其道上行損
 而有孚元吉无咎可貞利有攸往

而有孚。元吉。无咎。可貞。利。有攸往。

損々下益上其道上行損

人小益をんどもくろふ功德す。いともやんぞくろふえ
ふ字にうて吉のこらうくと又咎なり。くろふ世
にやうめ本やうこひるの道にうさるがゆえに貞
固ふす金——とるに己が身と損トて字と用ひ
るをいふ人よりこふの道理なり。○
往攸利なり。ざるいふにあり。

○曷之用

二盃可用享テス二盃應レ有時ニ。
心こころのきくく

用あるのたゞしうり前ふくわしきもの誠言
用ゆるふ時りるべしきもの時なり
かろくしきもの却るるわしきもの
○損則益柔有時

損益盈虛與時偕行
刪が宜くとりり柔
 うあつが宜くとりり

すこ^{つぎ}刪^{けり}てく^くく^くく^く柔^{なや}う^{なり}なる^{なり}益^{えき}る^る宜^{よろ}し^しく^く益^{えき}も
あ^あす^すも盈^{えい}る^る虚^こも借^かふ^ふ時^{とき}のよう^{よう}く^くん^んを見^みる^る
行布^{ぎょうふ}べー○益損上益下民説元疆自

益上損下

行ゆりる 盈あふ虚ひ時とき與とも偕い 虧く損そんト柔じやうト

二簋時有應
 二簋用之享以可

益民說之曰疆
无上自下下其
道大光往收有
不利す

中正慶有大川
涉利乃行
乃行

益動而與日進
疆无天施地生
益之道時與偕
不行

上下々其道大光利有攸往

○中正有慶利涉大川

木道乃行

○益動而與日

進无疆天施地生其益无方凡益之

道與時偕行

○夬決也剛決柔也

健而說決而和

○揚于王庭柔乘五剛也

○孚號有厲其危乃光也

窮前之猫

告自邑不利
尚且所乃窮
終也

利有攸往
利有攸往
利有攸往

姤遇也柔の剛
小遇也女と取
用也勿と取
長ど可く不也

天地相遇
品物咸章

告自邑不利
○告自邑不利

即我所尚乃窮也
○即我所尚乃窮也

利有攸往
○利有攸往

姤遇也柔遇剛也勿用取女不可
○姤遇也柔遇剛也勿用取女不可

與長也
○與長也

天地相遇品物咸章
○天地相遇品物咸章

咸章也

中正遇天
下大行也

姤之時
義大矣哉

萃聚也順
以說也

王有廟
假享也

經典餘師

也
陽遇陰
理不涉

○剛遇中正天下大行

○姤之時義大矣哉

○萃聚也順以

○王假廟

聚るふ正とて

大牲を用ひ吉と

其聚る所と

柔の時とて外

賢王の孝とて宗廟の人民の萃集
○用大牲吉利有攸往順天命

物之情可見矣
○觀其所聚而天地萬

○柔以時外與而順剛中而應是
大亨用見大人勿恤有慶也南征

吉志行也
陽下中一五君の柔小應

○困剛揜也險以說
困而不失其所亨其唯君子乎貞

大人吉以剛中也
陽剛の陰柔小揜

○有言不信尚口乃窮也
尚口乃窮也

水乎^{みづ} 汲^ひて而^{しか}て
 水^{みづ}を井^いに井^い
 養^{やしな}ふて而^{しか}て
 窮^{きう}ま^ずく不^も也^{なり}邑^{むら}を
 改^{あらた}め^して井^いを改^{あらた}め^して
 乃^{すなは}ち中^{なかつ}てス^て
 也^{なり} 沚^しに井^いを
 未^{いま}に六^む功^{こう}有^ある未^{いま}
 也^{なり} 其^{その}瓶^{びん}を靡^しる
 是^{こゝ}にス^る山^{やま}也^{なり}

人信ぜしとて困窮
○與半水而上水井々
養而不窮也。改邑不改井。乃以剗中
也。汔至亦未繙井。未有功也。羸其瓶
是以凶也。
其木あり水の中に入て水てりぐると
まうちや
剗中
とと二女といふ瓶ありくも繙つる
ざるとて功あり
況て瓶や入るくといふも繙つる
まうち
○革水火相息二女同居其志
不相得。曰革巳日乃孚。革而信之。文
明以說。
息の字やいともむらともいふこと
由もと一つはむらむらするまうち水と火と
ちや
離の中女兄の女とて女二女同居といふも
相ふ志不得といふも朝心むむあても

而耳目聰明
 柔進而上行
 得而剛乎
 應之是也
 元亨亨來
 震亨震來
 觀之致也
 福致也笑言
 也百里震驚
 也百里震驚
 通懼也出
 也出以宗廟
 社稷守之
 祭主守之
 可也

行得中而應乎剛是以元亨
建の象
 聖人供物と亨飪して上帝と亨たりまう聖賢と
 中と得たり正中の徳と云う二の剛賢
 目聰明と云う二の柔進と上行と君
 應と云う二の亨と云う二の剛賢
 元亨亨來と云う二の亨と云う二の剛賢
 震亨震來と云う二の亨と云う二の剛賢
 觀之致也笑言と云う二の亨と云う二の剛賢
 也百里震驚と云う二の亨と云う二の剛賢
 通懼也出と云う二の亨と云う二の剛賢
 也出以宗廟と云う二の亨と云う二の剛賢
 社稷守之と云う二の亨と云う二の剛賢
 祭主守之と云う二の亨と云う二の剛賢
 可也

艮止也時止
 則止時行
 靜其時不失
 其道光明其
 止其所止也
 上下敵應目
 不眴也見其
 身不獲其
 庭不見其人
 見不咎无也
 漸之進也女
 歸吉也進得
 位往有功也
 進以正可以

艮止也時止則止時行
 則行動靜不失其時其道光明
 止其所止也上下敵應不相與也
 是以不獲其身行其庭不見其人
 无咎也
 漸之進也女歸吉也
 進得位往有功也進以正可以正

正也其位
正也其位
正也其位
正也其位
正也其位
正也其位
正也其位
正也其位
正也其位
正也其位

歸妹天地之大
義也天地交
不而萬物興
歸妹人之終始
也說人之所以
動也歸妹之所
也利也歸妹之
柔剛不乘也

邦也其位剛得中也止而強動不窮

也進之道次第之問名納吉細微等

次第之序五歸妹之二行也

進也君臣之正以邦之得也

動也順道以暴歸妹天地之

大義也天地不交而萬物不興歸妹

人之終始也說以動所歸妹也征凶

位不當也无攸利柔乘剛也

大義也天地不交而萬物不興歸妹

生也興也人開始終之大義也
不正也柔乘剛也
○豐大也明以動故豐

王假之尚大也勿憂宜日中宜照天

下也日中則昃月盈則食天地盈虛

與時消息而況於人乎況於鬼神乎

離明之德也豐大也明以動故豐

萬民之望也豐大也明以動故豐

盈昃消息而況於人乎況於鬼神乎

漁亨剛來而窮
不柔位外乎
而上同王有廟
在也大川之涉
利涉大川
功有也

節亨剛柔分

而剛中得苦節
貞不可其道
險也說之
以節中
節而四時成節
財不傷
民害不

中孚柔內不在
而剛中得說
而與亨乃利
吉信豚魚及也

死にかへる身として... 歸説の大

○漁亨剛來而不窮柔得位中而

上同王假有廟王乃在中也利涉大

川乘木有功也

柔位中而利涉大川

受て下と外卦の柔位中

前疑后然左輔右弼の四臣の中

大川巨海と涉るも木も乗るも自由

節亨剛柔分而剛得中苦節不

可貞其道窮也說以行險當位以節

中正以通天地節而四時成節以制

度不傷財不害民

の三つ三の剛陽の徳を以て君臣の中

五君位不當身行と節あり中正通達

天地寒暑冷暖の氣の四時の時節

○中孚柔在内

而剛得中說而與亨乃化邦也豚魚

吉信及豚魚也利涉大川乘木舟虛

得也すべし孤ひとり泣なみどう溺ひたる
中うち由よし末すえ也なり其その尾おし
濡ぬるる利きとと
微こ元もと結むすとと終はつら
不ふ也なり位くらい當あたらず不ふ
雖いえども剛こわ柔なや應ひ
どう也なり

上象傳

亨柔得中也。小疵汔濟未出中也。濡其尾无攸利。不續終也。雖不當位。剛柔應也。

五柔中得二剛の賢ふ應ざるなり
二剛の賢出るとしてと濟んとすれども
坎難の中内ふ在く変と濟と
の世水と濟るふ汔なりも
其尾と濡すと
遂濟と
續て終と遂
陽剛陰柔と
柔と剛との對應は
象六天竺ふ在て外國ふうけ
その形は推量と
と想象と
下經も象象傳も
孔夫

上象傳

子の改考改考閨飾閨飾をうふぐえふ
傳とふ上下上下なり

天行健君子以自彊不息

乾けん天てんの道みちを
説せつく健けんとん

天行ハ健なり君
 子以て自強
 て息不

替龍用中
分陽下
在也

用陽在下也

陽の地下ふ伏くるをてのなりづる
のとぬてるるるるるる他の本卦

○見龍在田

見龍田不在德
施普り也

田○德施普也キ

明^九君^二用^文い^明う^のふ^離ふ^徳と^り可^九
明君の徳を離るるは徳と可

解ひ施し易い後のちも同おな例ようありとある處ところ

○終日乾々（かんかん）反復（はんぷく）道也

乾外反復まう
めぐりかままま

經典餘師

周易卷之四

七

或躍在淵無咎也

飛龍在天大人造

亢龍有悔盈不可久也

用九天德首為

地勢坤君子以

厚德載物

履霜堅

或躍在淵進無咎也

飛龍在天大人造

亢龍有悔盈不可久也

用九

天德不可為首也

地勢坤君子以

厚德載物

履霜堅

冰陰始凝也馴致其道至堅冰也

六二之動直

以方也不習无不利地道光也

可貞以時發也或從王事知光大也

含章

括囊

害う不也

黄裳元吉文在中也

龍野子戰其道窮也

用六永貞大終也

雲雷屯君子以經綸

无咎慎不害也

の害はらふ不あり

黄裳元吉文在中也

君位を占ふ大

天子の政令と謀るがごとく黄中の中の色なり裳と

于野其道窮也

坤の徳下ふやうなり

高居の道

用六永貞以大終也

文

雲雷屯君子以經綸

経綸の意なり

雖磐桓志行正也以貴下賤大得

民也

意貞正を行ふに在る貴なり

二之難乘剛也十年乃字反常也

即鹿

无虞以從禽也君子舍之往吝窮也

求而往明也

經典餘師

周易卷之四

求而往明也

其膏也施
光未也

泣血連如何
可長也

山下出泉
蒙君子以行

用刑人以正
法也

子克家
剛柔接也

其膏也施
○屯其膏施

泣血連如何
○泣血連如何可長也

山下出泉
○山下出泉蒙君子以

利用刑人以正
○利用刑人以正法也

子克家
○子克家剛柔接

勿用取女
行不順也

困蒙之吝
獨遠實也

童蒙之吉
順也

利用禦寇
上下順也

雲上

勿用取女
○勿用取女行不順也

困蒙之吝
○困蒙之吝獨遠實也

童蒙之吉
○童蒙之吉順以與也

利用禦寇
○利用禦寇上下順也

雲上

郊于需難也利用恒无咎未失常

○需于
郊不犯難行也利用恒无咎未失常

沙于需行中也在終也

○需于沙行在中也雖小有言以吉終也

泥于需災在外不敗也

○需于泥災在外也自我致寇敬慎不敗也

血于需順以聽也

○需于血順以聽也

酒食貞吉中正

○酒食貞吉中正也

不速之客來敬之終吉雖不當位

○不速之客來敬之終吉雖不當位

未大失也

○未大失也

天與水違行訟君子以作

○天與水違行訟君子以作

事謀始

○事謀始

事之所不永也
不可不也
言有雖也
其辨明也

訟之克不歸
通竄也
上言下患
至也

舊德之食
上小從之

復命即渝
安貞不失也
不也

訟元吉中正
訟以服受
亦敬不足也

地中有水
君子以容
衆畜

師出律以
律失凶也
師中在吉
天電承也

○不永所事訟不可長也雖小有言。

其辨明也。初柔弱者訟之事不可長也。

○不。早止息之利。訟之不可長也。上剛陽。

克訟歸逋竄也自下訟上患至掇

也。元亨利勢推敵也。通竄也。下自

○食舊德從吉也。求之義也。訟之不可長也。

○復即命渝安貞不失也。義前也。訟之不可長也。

○訟元吉以中正也。訟之不可長也。

○以訟受服亦不足。訟之不可長也。

○地中有水師君子以。訟之不可長也。

容民畜衆。水之象也。訟之不可長也。

○師。出以律失律凶也。訟之不可長也。

○在師中吉承天電也王。訟之不可長也。

○師。出以律失律凶也。訟之不可長也。

○在師中吉承天電也王。訟之不可長也。

○師。出以律失律凶也。訟之不可長也。

○在師中吉承天電也王。訟之不可長也。

○師。出以律失律凶也。訟之不可長也。

比命命を賜ふ錫賜ふ萬邦萬國

師師或或與與大元大元

左次左次失常失常

長子長子帥帥師師以以中行中行也也弟子弟子與與

當當不當不當

大君大君有有命命以以正正功功

邦邦勿勿亂亂也也

三錫命懷萬邦也天子より重き職を承る

師或與大元恩寵の至るより天子

功也大元功の元の

失常也時の宜可

長子帥師以中行也弟子與

不當也長子中正の德行

大君有命以正功正して依怙

邦勿亂也邦を乱る

地上有水比先王以建萬國親諸

侯比

比之初六有他吉也諸侯万民

比之自内不自失也中正の道

比之匪人不亦傷比

手比

於賢以從上也内の初

顯比之吉位正中也舍逆取順失

比之顯比之吉位正中也

上小從上也

外賢於比也

前禽也。邑人不誠。上使中也。
前禽、失也。邑人、誠の不上の使、中也。

比之无首。无所終也。
比、此也。无首、終所无也。

風行天上。小畜。君子以懿文德。
風、天上、行、小畜、君子、以、懿、文、德。

復。自道。其義吉也。
復、自道、其義、吉也。

前禽也。邑人不誠。上使中也。

前、頭也。比、

比之无首。无所終也。

比、此也。无首、終所无也。

風行天上。小畜。君子以懿文德。

五

復。自道。其義吉也。

二四五六の四陽

牽復。自道。其義吉也。
牽、復、自道、其義、吉也。

夫妻反目。室不能正室也。
夫妻、反目、室、不能、正室也。

有孚。惕出。上合志也。
有孚、惕出、上合志也。

有孚。不富。不也。
有孚、不富、不也。

在。中。亦。不。自。失。也。

牽、復、自道、其義、吉也。

不能正室也。

三、道、不、正、室、也。

有孚。惕出。上合志也。

有孚、惕出、上合志也。

有孚。不富。不也。

有孚、不富、不也。

既雨既處德積載也君子愆有

所疑也

上天下澤履君

子以辯上下定民志

素履之往

往獨行願也

貞吉中不自亂也

○既雨既處德積載也君子愆有
所疑也
上天下澤履君
子以辯上下定民志
素履之往
往獨行願也
貞吉中不自亂也
○眇能視不足以有明也跛

能履不足以與行也

武人爲于大君志剛也

○眇能視不足以有明也跛

能履不足以與行也
武人爲于大君志剛也
○眇能視不足以有明也跛

當也

○夬履貞厲位正

不慶とい有也

天地交り泰
后以財成天地之
道輔相天地之
宜以左右民

第拔征吉志
在外不在也
尚包中行
光大也
平而不陂

吉在上大有慶也

人の慶行処善とげ
終るゝのふて重客

周旋しうせんも道みちふ欠かへくなくけ

天地交

泰后以財成天地之道輔相天地之

宜以左右民

天地交り泰のふく陰陽

御身天地陰陽の道不隨從財成あり万物とげ
成しその宜れと輔相て民ふ天のふくを用い地の

利不剛五穀人け

拔第征吉志

在外也

外卦の分るる三陽牽連とら
て上とまんとふふはいつる

包萊得尚中行以光大也

龍と包

中行不尚

光明大現るる

○无平不陂

天地際也

陽地下小降陰上ふりりまこ
本ふ復るる陽まこ入るる

物と交際まどつる血界の常定あり

翻々不富皆失實也不戒以孚中

心願也

陰の下に在る常分り今上ふ在る
実と知るる人るる吾心中より願ふ

○以

祉元吉中以行願也

陰と陽ふく陽ふく
尊貴とて解と

不賢と有徳ふく人るる大吉のみらるる
て祉福あり五位中徳とて願ふとせらるる

○城復于隍其命亂也

泰の終るる

城の門まで墮るるて本ふ復るる
上より今とる所も乱るる

○天地

城隍于復る其

令乱る也

天地交り不

不

出門又誰咎也

人不同各道也

我之萃于大也

其壙義弗克

困而則反也

出門又誰咎也

同人于宗各道也

伏戎于莽

敵也三歲不興安行也

其壙義弗克也

其吉則困而反則也

同人于宗各道也

同人于郊志未得也

火在天上大有

有君子以遏惡揚善順天休命

大有初九无交害也

大有初九无交害也

大有初九无交害也

大有初九无交害也

大有初九无交害也

大有初九无交害也

害をくく元也

大車以て積中に積で敗る不也

公用て天子子取て人害にる也

其彭ろと匪答を明辨

厥孚り交知を信ふて志を發する也威如る之吉易ふ

而備く元也

大有の上吉天自祐る也

地中ふ山有謙之君子以多と豫めて寡と益と物と称施と平とす

謙と謙ふと君子卑じて

大有の初めつゞき警修たよるのころふもこの時ふ早く慎戒し身の害ふ交るく

○大車以て載積中不敗也 野陽の賢才君のためふ重く負せらるるに大車ふ重任と載るといふも敗るころふく

○公用亨于天子小人害也 大有の時天子の命と亨て下成民と治めず不徳の小人ふ處る事の害と引く

○匪其彭无咎明辨哲也 大有の時損て謙退の道と志めり明辨るの智る

○厥孚交知信以發志也威如之吉易而无備也 大有のころふ孚信

交知と下もふ威服して孚と尽し奉まけるあり此入の信孚とて上下の志吉と發る

○大有上吉自天祐也 外とて大有の十分満盈の処ふ不處ふ取る離の文明る智るの満

○地中有山謙君子以裒多益寡稱物平施 地の下ふ大山とあり象とて謙とつたり

益寡稱物平施 象とて謙とつたり

○謙々君子卑

以自牧也

謙鳴貞吉

萬民服也

利不違也

侵伐用師

得邑國也

以自牧也

○鳴謙貞吉

○勞謙君子萬民服也

○无不利

○利用

侵伐征不服也

○鳴謙志未得也

可用行師征邑國也

○雷出地奮豫

○先王以作樂崇德

薦之上帝以配祖考

○初

六鳴豫志窮凶也

○不終日貞吉

中正也

○君子

○

雷出地奮豫

先王以作樂崇德

初六鳴豫志窮凶也

中正也

以自牧也

○鳴謙貞吉

○勞謙君子萬民服也

○无不利

○利用

侵伐征不服也

○鳴謙志未得也

可用行師征邑國也

○雷出地奮豫

○先王以作樂崇德

薦之上帝以配祖考

○初

六鳴豫志窮凶也

○不終日貞吉

中正也

○君子

○

肝豫悔有

由豫大有得志

六五貞疾剛乘

中亡未也

冥豫上在何可

澤中有雷隨

君子以嚮晦入宴息

吉 ○肝豫有悔位不當也

○由豫大有得志

六 六五貞疾剛乘

中亡未也

○冥豫在上何可長也

澤中有雷隨君子以嚮晦入宴息

雷鳴動也澤隨從

官渝有正

小從之吉也

有知不也

與也弗也

夫子係之

下也舍也

正吉也出門交有功不失也

○官有渝從

○係小子弗與

與也

○係丈夫志舍下也

○周易卷之四

隨て獲る有り
其義也
道在明功也

嘉于子り吉
位正中也

之拘係もろ
上窮もろ也

山下風有蠱
君子以振
德と育と

泥しぐさ或陰の陽ふけと婦の夫ふけは人
わらひ不肖の賢ふとてふもつと外極めて
引義と
○隨有獲其義也
有子
在

道明功也
己隨ふの心て獲の
てその義理なり
○子于嘉吉位正中也

嘉の善る人君子の善る人君の位その正中とてふもつと外極めて
○拘係之上窮也
從

○山下有風蠱
六の隨の究まるなり
○山下有風蠱

君子以振民育德
事と治むる君子の徳なり
徳とや

○幹父之蠱意承考也
父の蠱ふ幹ふ
意考ふ承也

○幹母之蠱得中道也
母之蠱ふ幹ふ
中道と得也

幹父之蠱終无咎也
剛陽とて陽位ふ処
剛のとてふるなり

父之蠱往未得也
陰柔とて陰位ふ居
陰位と居

○幹父用譽承以徳也
賢と用い
能父の業と受継
賢と下乃賢と佐けを承とて剛中の徳なり

王侯之事不志
則可也

澤上有地有臨
君子教思以
無民之容保
疆土

咸臨貞吉志
正行也

咸臨吉無利
命也

甘臨位不當也

○不事王侯志可則也。佐外不事王侯

○澤上有地臨君。澤上之志可則也

子以教思無窮容保民無疆。地無疆

○咸臨貞吉志行正也。初九陽佐

○咸臨吉無利末順命也。初九陽佐

○甘臨位不

當也既憂之咎不長也。陰柔

○至臨无

咎位當也。近君之佐

○大君之宜行中之謂也。君德

○敦

臨之吉志在內也。陽

○風行地上觀先王以省方觀民設

教。風行地上

○初六童

の道也

觀觀女貞亦

醜可也

我生の進退を

觀道へ失へ未也

國之光を觀賓

尚し也

我生と觀民と

觀也

其生と觀志と

平也

雷電噬嗑

先王以明罰

觀小人道也

目と付て觀

○觀觀女貞亦可醜也

順小人

女子小者

○觀我生進退未

失道也

進で可や退で不可やその宜しき

○觀國之光尚賓也

君上より賢者用ひ

賓師

○觀我生觀民也

君

○觀其

生志未平也

外より見て其志未平也

雷電噬嗑

先王以明罰

勅法

天下を治む難く其の

○屨校滅趾不

行也

行也

聖人刑罰

○噬膚滅

鼻乘剛也

刑罰に嚴重なり

○遇毒位

不當也

不當也

服に及んで反て吾身毒なり

○利艱貞吉未光也

利に及んで未だ光る

○貞厲无咎得當也

中より得る

校ア何ニ耳ヲ滅ス不レ也

得ルの任ニ當ル也

○何校滅耳聰不明也

不レ也

耳聾ニ聞ク不レ明ニ也

○聾有火

折レ獄ヲ無レ也

刑獄の吏ヲ明ニ時ニ獄ニ折ル也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

折レ獄ヲ無レ也

刑罰訴訟の吏ニ情ヲ用フ也

○折獄無訟

○山附於地

山の剥削しきり下剝
里はきりなり下剝

君子この象と
其住居安堵す

杯の剥とつゝ、足木の折
ふよりてゝ、④えゝ下

辨未有與也

剝之无咎矣

應^{オウ}どろま^ドその咎^{トガ}无^{ナシ}由^ユ
同^{ドウ}類^{レイ}と^トも^モし^シ失^シふ^フ一^{ヒト}が

切近災也

宮人竈終无尤也

得々群陰之道

示人剥盧終不可

萬民と君子と

○雷在地

利リ弊ヘイ商ショウ旅リョ不フ行コウ后コ

雷地中にお在る聲と登

陽の御^ご影^{かげ}に
わたりて長^{なが}く

開

之復ル以テ修ム身ヲ也

四十一

四十一

四十一

休復之吉仁小
下るゝ以て也

頻あまなり小復こふく之の厯りきと
呈こころをあらわす義ぎ咎とが无な也

中行獨復道小
從之也

復ふたふた不ふたふた敦とん悔かい无む中ちゆう
以もつ自じ考かう也や

迷復之凶君道
小反也

不速^{ハヤ}に來^キて間^{マヒ}もな^ク既に^{スデニ}復^{カヘ}る^{コト}と云^フふ
君子^{クニノミコト}過^ス失^スある^{コト}と云^フふや改^{カヘ}易^{カヘ}て身^ミと修^{シユ}むや
な
○休^ユ復^{カヘ}之^ノ吉^{キチ}以下^{以下}仁^ニ也^也
復^{カヘ}る^{コト}と云^フふは初^{ハツメ}九^ク是^シなり二^ニより三^ミより
之^ノ下^カなる復^{カヘ}の德^{トク}の休^ユと云^フふのありて仁^ニなること以^モ
て
○頻^{ヒン}復^{カヘ}之^ノ厲^リ義^ギ无^ク咎^{トガ}也^也
厲^リ々^々と云^フふは善^{ゼン}小^コ復^{カヘ}る^{コト}のあり
義^ギ小^コなる^{コト}と云^フふと答^{コタ}へ
○中行^{チュウコウ}獨^{ドク}復^{カヘ}以^モ
從^ス道^{ダウ}也^也
衆^{シュウ}陰^{イン}と云^フふは小^コ行^{コウ}は獨^{ドク}に
復^{カヘ}る^{コト}と云^フふは仁^ニ道^{ダウ}に從^スふことなり
○敦^{トン}復^{カヘ}无^ク悔^{カエ}中^{チュウ}以^モ自^ジ考^{コウ}也^也
六^{ロク}五^ゴ陰^{イン}と云^フふは
敦^{トン}復^{カヘ}無^ク悔^{カエ}中^{チュウ}に自^ジ考^{コウ}する
道^{ダウ}と云^フふは順^{ジュン}德^{トク}と考^{コウ}成^{セイ}が
○迷^{メイ}復^{カヘ}之^ノ凶^{キウ}反^{ハン}
迷^{メイ}る^{コト}と云^フふは復^{カヘ}る^{コト}と云^フふは
君^{クニノミコト}道^{ダウ}也^也
柔^{ニギハヤ}暗^{アン}と云^フふは終^{シュウ}に迷^{メイ}る^{コト}と云^フふは復^{カヘ}る^{コト}と云^フふは
君^{クニノミコト}の道^{ダウ}に迷^{メイ}る^{コト}と云^フふは人の上^{ウヘ}なる德^{トク}

天下てんかの行ゆく物ものは
無妄むわうといふ先王せんわう以もつて
我われと時ときを對たいし
て万物ばんぶつと育そだふ

无妄之往むげのゆく 志こころと
得うる也

耕かう穫くわ也や不ふ富ふ也や
 未み也や

人牛と得る邑
人の災つゝ也

貞
可
答
无
固

經典餘師

司步錄二

一

天下雷行物與无妄先王以

茂對時育萬物
天の下ふ雷めぐる行の
と去年より土中ふ執

伏し、垂れ出さるる中木の萌芽も振いつくさるる
 无妄自ずん小物もは勢力と生じ先王天のとれふ志
 になつて万物を養育してその生と遂に
 ひろくろく妄へもろく之无妄に自然なり

○无妄

之往得志也
无妄ふーて往為る万夏る
りざーと得ざるる

○不耕穫未富也

不富と云ふとみとるふ不^ふと云ふと云ふ
利欲と云ふけと云ふて為^なふと云ふと云ふ
○行人得

牛色人災也

利あり己の利に他人を害し得る
○可
行人の利に邑人の災をとするなり

卷之四

之有つ也

无妄之藥試じ可く不也

无妄之行究ま

天山中ふ在大畜君子以多前言行識以て其徳と畜り

有己小利

貞无咎固有之也

陽と以て陰位に居るハ剛ふとて貞周

无妄之藥不可試也

妄

妄之行窮之災也

妄究極とて妄之災也

天在山中大畜君子以多識前言往行以畜其徳

有

有

属利已不犯災也

四ふ敵とてくぬとあつて

輿説輟中无尤也

利有攸往

上合志也

六四元吉有喜也

六五之吉有慶也

何天之衢道大行也

物つり極むると

有雷頤君子以慎言語節飲食

の下ふ震とともハ陽気地中なり
 震と生じたるハ養順の象なり
 上卦の震と下卦の震とぞくと
 口領の象なり言語と飲食との義と
 君

子^{この}の^{せいど}とて言^い語^ごとじも
食物^{しょくぶつ}の制^{せい}節^{せつ}と立^たちるなり

不足^{ふそく}貴^き也^や

人^{ひと}は欲^{よく}心^{しん}の爲^{ため}ふ心^{こころ}うごくは陽^{やう}

好^{こう}賢^{けん}明^{めい}の才^{さい}智^ちりくも己^{おのれ}身^みをさ

○觀^{かん}我^が朵^た願^{げん}亦^{また}

貴尚きとうとひり足あしも
○六二征凶行失類

也。己カ求ヒシニバ辨トシ行ク五ノ志ニシテバ
己カ類ト違失トシ更ニ征ヲ凶ナリ
○十

年勿用道大悖也。ナハ數ノヤイリチイリ
勿用トシ終ニハ用マド

道大必義理不悖くがゆえに ○顛頤之吉上

の身上みづかみに居ゐる徳とくを施おこすゝその光明くわうめい
天下てんかに被か及ふぶ吉きつなるゆえんなり

○居貞之

○由頤厲吉。大有慶。

大慶 ○澤滅木大過君子以獨立不
懼遯世无悶

卷之四

藉（ふ）白（ふ）茅（ふ）柔（ふ）在下也

てたゞ世間の惡を恐るゝ身行といふこととて君子身と清く研てたゞ世間の惡を恐るゝ身行といふこととて君子身と清く研

老夫女妻過以相與

○老夫女妻過以相與

棟（ふ）之（ふ）山（ふ）不可有輔也

○棟之山不可以有輔也

棟（ふ）隆（ふ）之（ふ）吉

○棟隆之吉不撓手下也

下（ふ）手（ふ）撓（ふ）不（ふ）也

○下手撓不也

枯（ふ）揚（ふ）華（ふ）何可（ふ）也

○枯揚生華何可久也

老婦（ふ）士夫（ふ）亦（ふ）可（ふ）醜（ふ）也

○老婦士夫亦可醜也

過（ふ）涉（ふ）之（ふ）山（ふ）不可（ふ）谷（ふ）也

○過涉之山不可谷也

水（ふ）洊（ふ）至（ふ）習（ふ）坎（ふ）君子（ふ）以（ふ）德（ふ）行（ふ）教（ふ）事（ふ）習（ふ）也

○水洊至習坎君子以常德行習教事

習（ふ）坎（ふ）坎（ふ）入（ふ）道（ふ）也

○習坎坎入道也

失うつうふ也

求りて小得中
出未也

來之坎々終
功无也

樽酒簋贰則
柔際る也

坎盈不中大
未也

坎入坎失道凶也

坎で習わぬと坎の中
の坎より富はまゝその

求小得未出中也

九二坎中の坎より初
ハ坎中の坎の底より

來之坎々終无功也

來る

樽酒簋贰則柔際也

五

不羣中未大也

坎ハ盈と云ふ所の所なりて

上六道と失う
凶三歳也

道凶三歳也

陰柔にして坎險の極處に居ハ

明兩作離大人以繼明照

于四方

離明兩作と離の全体と大徳の人の明

履錯之敬以
咎と辟也

履錯之敬以辟咎也

履で行

黃離元吉中道
と得也

日長之離何也
久し可也

突如其來
容其所

六五之吉王公
離也

王用出征
以正邦

○黃離元吉得中道
離の文明の徳を以て中なり

也
離の文明の徳を以て中なり

日長之離何可久也
日光のやうに長く入る人もさう

○突如其來如无所容也
突然として身と容るゝところなり

六五之吉離王公也
六五の吉は王公の位

王用出征以正邦也
王が出征して邦を正す

○王用出征以正邦也
王が出征して邦を正す

離ハ附ト
離は附と

王用出征以正邦也
王が出征して邦を正す

とる也

○王用出征以正邦也
王が出征して邦を正す

